| 当初予算書 |
| --- |
| 111P |

| 事業名 | 【継続】<br>重度心身障害者福祉交通機関利用助成事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | (単位：千円) |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 539万5 | | | | | 539万5 |
| 事業期間 | 昭和54年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

重度心身障害者が、タクシーや路線バス・鉄道を利用する際の料金の一部を助成することで、障害者の社会活動の範囲を広め、心身障害者の福祉の向上を図ります。

【事業概要】

≪内　容≫

１枚１００円の利用券を１年間に一人当たり２００枚交付

≪対象者≫

自ら運転を行わない在宅者のうち、移動が困難な次のような方

・療育手帳の交付を受けた方
・身体障害者手帳（１級～２級）の交付を受けた方で、車いすを常用している方
・身体障害者手帳の交付を受けた方で、一定の条件に該当する視覚障害者や通院により人工透析を行っている方
・精神障害者保健福祉手帳１級の交付を受けた方

≪協力機関≫

市内に所在する会社

・タクシー（有明、小嵐、島鉄、長崎第一交通、平成観光、本多観光）
・介護タクシー（おかげ、林田観光、ほおじろ、長崎第一交通）
・島原鉄道　・島鉄路線バス

| 科目 | 3款 | 1項 | 1目 | 目名称 | 社会福祉総務費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 113P |

| 事業名 | 【継続】<br>障害者福祉医療費給付事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | (単位：千円) |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 9,733万3 | | 4,850万0 | | | 4,883万3 |
| 事業期間 | 昭和49年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

心身障害者に対し医療費の一部を助成することによって、障害者とその家族の経済的、精神的負担の軽減を図り、福祉の増進を図ります。

【事業概要】

**対象者**
①身体障害者手帳　　1級、2級、3級
②知的障害者療育手帳　A1、A2、B1
③精神障害者保健福祉手帳　1級

支給対象者が国民健康保険及び医療保険各法の規定によって医療の給付を受け、その医療に要する費用の一部負担金を支払った場合において行います。

| 身体障害者手帳1・2級<br>療育手帳A1・A2 | 身体障害者手帳3級<br>療育手帳B1 | 精神障害者保健福祉<br>手帳1級 |
| --- | --- | --- |
| 一部負担金から入院、通院とも1日800円（1カ月1,600円を限度）を控除した額を支給。<br>※処方箋による調剤薬局は全額支給。 | 一部負担金から入院、通院とも1日800円（1カ月1,600円を限度）を控除した額の1/2を支給。<br>※処方箋による調剤薬局は一部負担金の1/2の額を支給。 | 一部負担金から通院のみ1日800円（1カ月1,600円を限度）を控除した額を支給。<br>※処方箋による調剤薬局は全額支給。 |

| 科目 | 3款 | 1項 | 1目 | 目名称 | 社会福祉総務費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 113P |

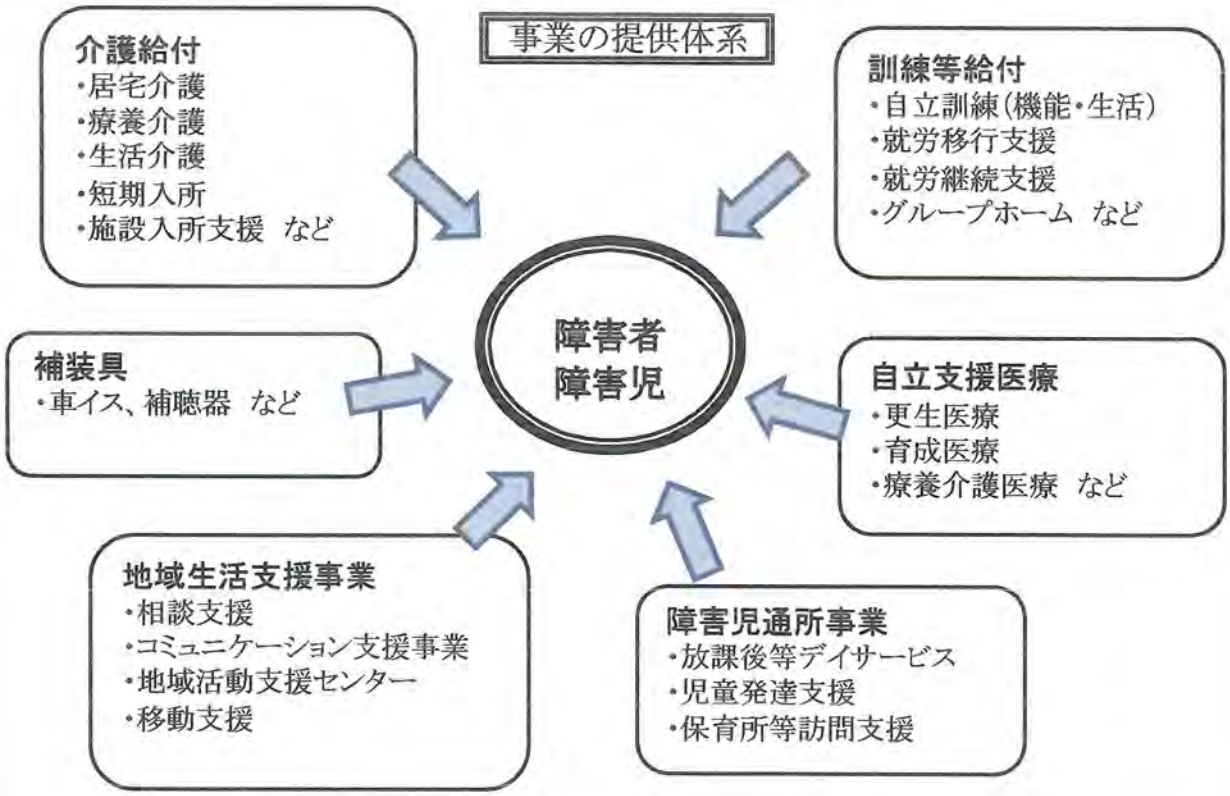
| 事業名 | 【継続】<br>障害者自立支援給付事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 15億1,620万2 | 7億4,539万3 | 3億7,218万8 | | 218万1 | 3億9,644万0 |
| 事業期間 | 平成18年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

障害者総合支援法による自立支援給付事業（介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具、地域生活支援事業など）や障害児通所事業を提供し、障害者等の日常生活及び社会生活を総合的に支援します。

【事業概要】

≪事業主体≫　島原市
≪事業期間≫　平成１８年度～
≪事業内容≫　障害者等の総合的支援を目的に、支援の必要度合いに応じた各種サービスを提供します。
≪利用者負担≫　原則１割負担（ただし、所得に応じた負担上限額を設定）
≪負担割合≫　事業費の負担割合　国１／２、県１／４、市１／４




| 科目 | 3款 | 1項 | 1目 | 目名称 | 社会福祉総務費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 117P |

| 事業名 | 【継続】<br>生活困窮者自立支援事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 755万9 | 566万3 | | | | 189万6 |
| 事業期間 | 平成２７年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

平成２７年４月１日から施行された生活困窮者自立支援法に基づき「自立相談支援事業」及び「住宅確保給付金」を実施することにより、生活保護に至る前の段階での自立支援の強化を図ります。

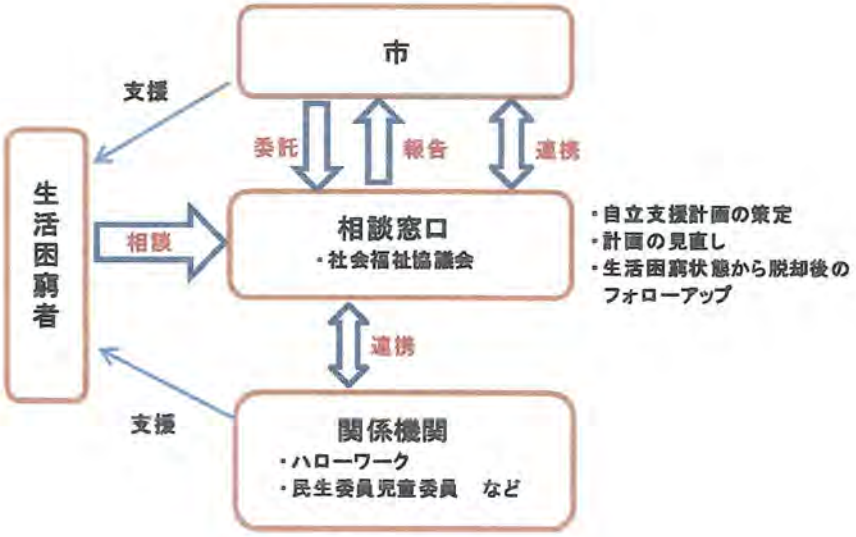
【事業概要】

「自立相談支援事業」

生活困窮者からの相談を受け、その抱えている課題に応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう自立支援計画を策定し、関係機関（ハローワーク等）と連携して、生活困窮状態から脱却できるよう自立支援計画に基づく就労支援等を行います。

「住宅確保給付金」

離職等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれが高い生活困窮者に対し、就職に向けた活動をすることなどを条件に一定期間、家賃相当額の「住宅確保給付金」を支給することにより、安定した住居の確保と就労による自立を図ります。




| 科目 | 3款 | 1項 | 1目 | 目名称 | 社会福祉総務費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 生活困窮者が困窮状態から早期に脱却できるよう自立相談支援事業及び住宅確保給付金の実施 | 左記の事業計画と同じ | 左記の事業計画と同じ |

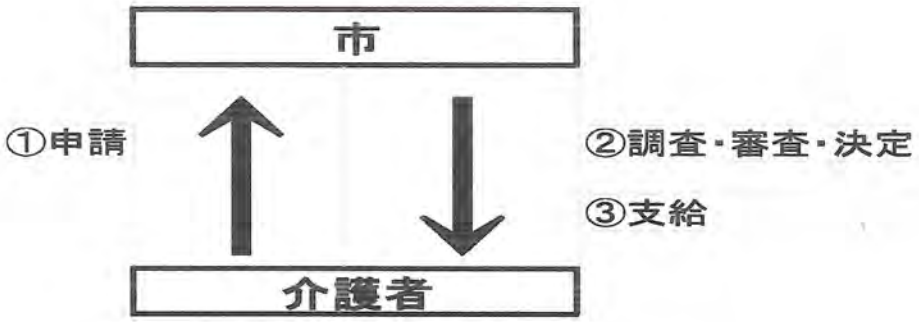
| 当初予算書 |
| --- |
| 119P |

| 事業名 | 【継続】<br>ねたきり老人等介護見舞金支給事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 (単位：千円) | | | | |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,035万0 | | | | | 1,035万0 |
| 事業期間 | 平成7年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】
在宅のねたきり老人又は認知症老人を介護する方に対し、ねたきり老人等介護見舞金を支給することにより、日頃の労をねぎらうとともに、高齢者の福祉の増進を図ります。

【事業概要】
≪内　容≫
ねたきり老人等１人につき年額５万円を支給します。

≪対象者≫
９月１日現在、本市に住所を有する方で、基準日（９月１日）前１年間において６ヶ月以上居宅で介護している方（入院、入所期間が６ヶ月以上ある場合は該当しません。）




| 科目 | 3款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 老人福祉費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 支給額50,000円 | 上記事業概要と同じ | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 119P |

| 事業名 | 【継続】<br>高齢者福祉交通機関利用助成事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | (単位：千円) |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,631万6 | | | | | 2,631万6 |
| 事業期間 | 平成18年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

高齢者がタクシー・路線バス・鉄道を利用する際の料金の一部を助成することで、高齢者の社会活動の範囲を広め、自立を支援し、高齢者の福祉の向上に寄与するとともに地域交通の振興を図ります。

【事業概要】

≪内　容≫

1枚100円の利用券を1年間に一人当たり70枚交付します。

利用１回につき500円まで利用できます。

≪対象者≫

島原市に住所を有する75歳以上の方で、次の要件のいずれかを満たす方

①所得税非課税の方で、自ら車の運転をしない方

②運転免許証を自主返納した方

≪協力機関≫

市内に所在する会社

・タクシー（有明、小嵐、島鉄、長崎第一交通、平成観光、本多観光）

・介護タクシー（おかげ、林田観光、ほおじろ、長崎第一交通）

・島原鉄道　・島鉄路線バス

| 科目 | 3款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 老人福祉費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 100円の利用券を80枚交付<br>(8千円分) | 100円の利用券を70枚交付<br>(7千円分) | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 119P |

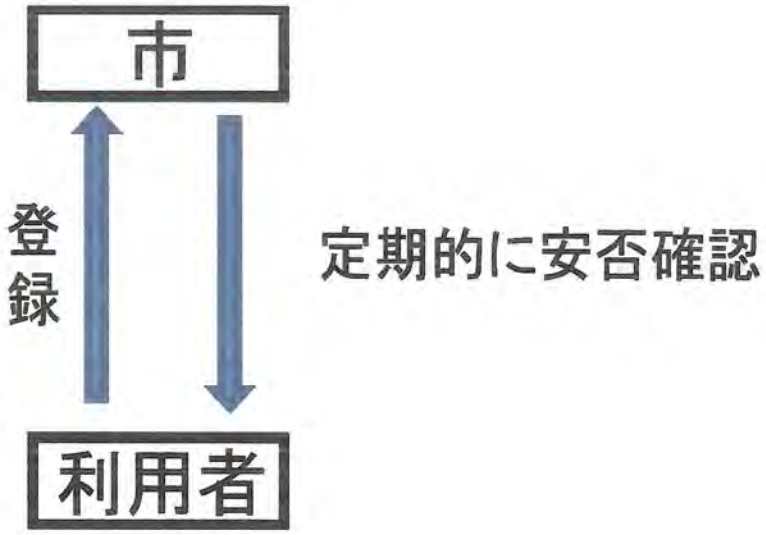
| 事業名 | 【継続】<br>テレフォンサービス事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 (単位：千円) | | | | |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 63万8 | | | | | 63万8 |
| 事業期間 | 平成13年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】
希望者宅へ定期的に電話をかけて安否を確認し、簡単な日常生活の相談等に応じ、高齢者の安全確保と不安解消を図ります。

【事業概要】
≪内　容≫
定期的に電話をかけて安否を確認し、簡単な日常生活の相談等に応じます。
平日の午前中に週３回まで利用可能で、曜日・回数は希望に応じます。

≪対象者≫
65歳以上のひとり暮らしの方で、健康などに不安があり利用を希望する方

≪利用料≫
無料




| 科目 | 3款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 老人福祉費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引き続き実施予定 |

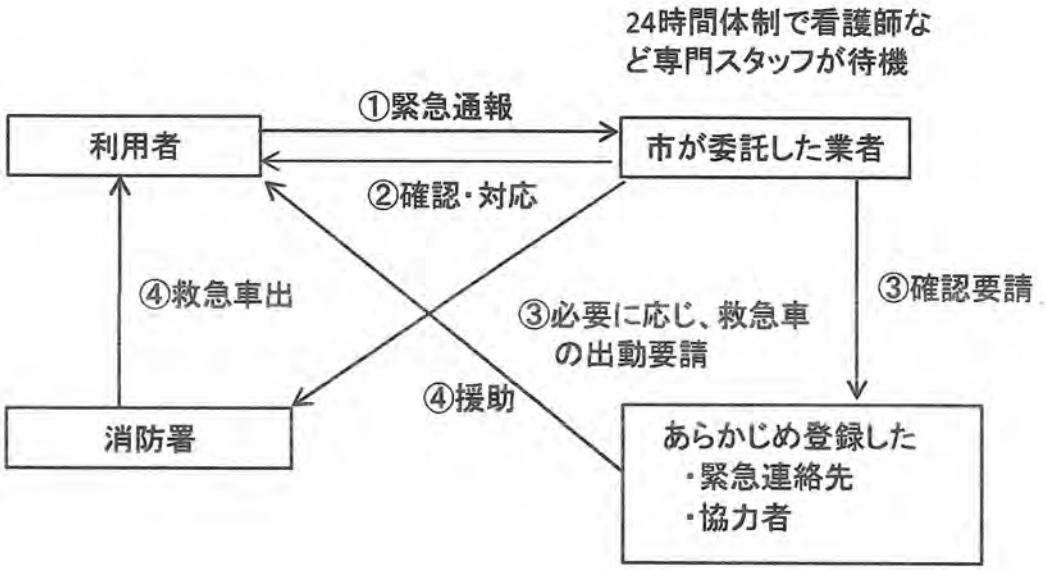
| 当初予算書 |
| --- |
| 119P |

| 事業名 | 【継続】<br>緊急通報システム | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | (単位：千円) |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 355万3 | | | | | 355万3 |
| 事業期間 | 平成１５年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

ひとり暮らし高齢者などが、急病などの際、簡単な操作で緊急であることをしらせることができるシステムで、高齢者の安全確保と不安解消を図ります。

【事業概要】




※緊急通報の受付以外にも、毎月２回、安否確認の電話連絡

▼対象者　ひとり暮らし高齢者

※高齢者夫婦で、一人が寝たきりや介護が必要な世帯や、昼間一人となる世帯なども生活状況を勘案し、利用希望申請に基づき機器を貸与します。

▼利用料　月額３００円

| 科目 | 3款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 老人福祉費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 119P |

| 事業名 | 【継続】<br>敬老無料入浴サービス | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 (単位：千円) | | | | |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 418万9 | | | | | 418万9 |
| 事業期間 | 平成18年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

長年社会に貢献してこられた高齢者を敬愛し長寿を祝福します。

【事業概要】

≪内　容≫

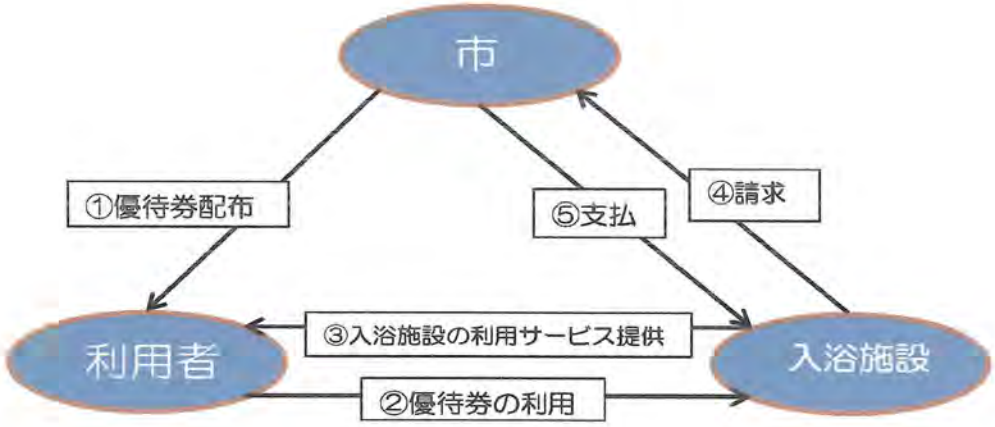
対象者へ入浴優待券を１人５枚配布し実施期間中の入浴を楽しんでいただきます。

≪対象者≫

基準日の9月1日に満70歳以上の方

≪実施施設≫

「ゆとろぎの湯」、「有明福祉センター美人の湯」




(利用実績)

平成27年度　3,710,120円
平成26年度　4,565,100円
平成25年度　4,146,700円
平成24年度　1,664,000円
平成23年度　1,063,500円

| 科目 | 3款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 老人福祉費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 9月15日から11月14日までの間<br>(2か月間) 優待券は一人5枚 | 敬老の日から2か月間<br>優待券は一人5枚 | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 119P |

| 事業名 | 【継続】<br>全国健康福祉祭ながさき大会（ねんりんピック長崎2016） | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,450万0 | | | | | 3,450万0 |
| 事業期間 | 平成27年度～平成28年度　（複数年度事業） | | | 総事業費 | |

【事業目的】

平成28年10月に島原市で開催される「ねんりんピック長崎2016（弓道・サッカー）」を成功させるため、ねんりんピック開催の周知を図るとともに、競技団体と連携し交流大会の運営を行い、併せて健康づくり教室を開催します。また、花いっぱい等の歓迎おもてなし事業にも取り組みます。

【会期】

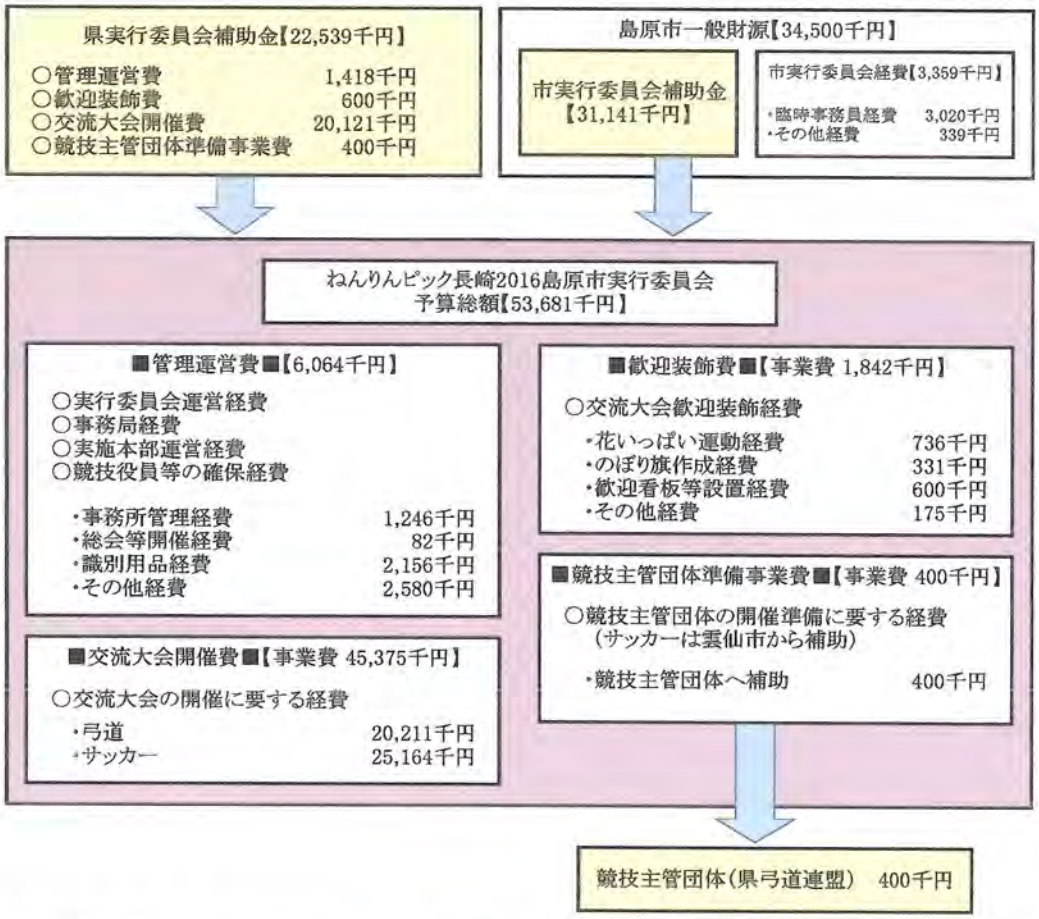
平成28年10月15日（土）から18日（火）までの4日間

【競技種目（島原市開催分）、参加予定人員】

・弓道　576人（1チーム8人×72チーム）

・サッカー　1,360人（1チーム20人×68チーム）　※サッカーは雲仙市と共催

【事業概要】




| 科目 | 3款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 老人福祉費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 実行委員会の設立・運営<br>開催要領の作成<br>種目別リハーサル大会の実施<br>実施計画の策定 | 種目別プログラムの作成<br>大会実施本部の設置・運営<br>本大会の開催<br>報告書の作成 | ― |

| 事業名 | 【継続】<br>ねたきり高齢者等おむつ費助成事業 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 当初予算額 | 財源内訳 (単位：千円) | | | | |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 228万0 | | | | | 228万0 |
| 事業期間 | 平成１８年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

ねたきり高齢者及びねたきり身体障害者の世帯に対し、おむつ代の一部を助成することにより、介護にかかる負担を軽減します。

【事業概要】

≪内　容≫

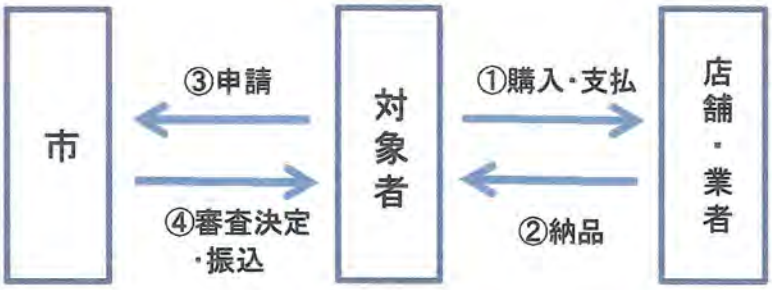
購入費の３分の１を助成し、上限を月額５千円とします。

≪対象者≫

満６５歳以上のねたきり高齢者及びねたきり身体障害者で次のいずれも満たす方

（１）常時おむつを使用している方

（２）前年分（１月から６月までの間に購入した分について申請する場合にあっては、前々年分）の所得税非課税世帯に属する方




| 科目 | 3款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 老人福祉費 | 福祉課 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業計画 | 前年度まで | | 今年度 | | 来年度以降 | |
| | 購入費の３分の１を助成<br>上限は月額５千円 | | 上記事業概要と同じ | | 引き続き実施予定 | |

| 当初予算書 |
| --- |
| 123P |

| 事業名 | 【新規】<br>地域密着型介護老人福祉施設事業所整備事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 (単位：千円) | | | | |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1億2,383万0 | | 1億2,383万0 | | | |
| 事業期間 | 平成２８年度 (単年度事業) | | | 総事業費 | |

【事業目的】

介護保険施設等における入所待機状態を解消するため、また、できる限り住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受けつつ、安心して自分らしい生活を実現できる地域社会を目指すため、地域密着型サービスの施設整備を行います。

【事業概要】

◆島原市・雲仙市・南島原市　各１事業所

第６期島原地域広域市町村圏組合介護保険事業計画（Ｈ２７～Ｈ２９）に基づき、地域密着型介護老人福祉施設事業所１カ所の施設整備に対する助成を行います。

（第７期計画以降は、整備しない。）

◆交付基準単価

小規模（定員２９人以下）の特別養護老人ホーム

**基礎単価　　整備床数**

**４２７万円　×　２９床　＝　１億２，３８３万円**

※長崎県地域医療介護総合確保基金事業補助金（介護施設等の整備に関する事業）

【その他】

◆整備対象地域は、日常生活圏域ごとの整備状況を踏まえ、十分考慮して決定します。

◆整備状況

地域密着型特別養護老人ホーム淡淡荘Ⅱ

萩が丘二丁目6122　／　29床

H24～H25事業（長崎県補助金）

施設整備：1億1,600万円

開設準備：　1,647万2千円

【補助金交付までの流れ】

①事業者公募　⇒　広域圏
②事業者選定　⇒　広域圏
③補助金決定　⇒　市
④施設整備　⇒　事業者
⑤補助金交付　⇒　市

| 科目 | 3款 | 1項 | 6目 | 目名称 | 介護保険費 | 保険健康課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

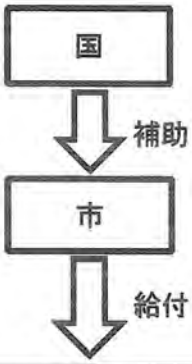
| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | － | 上記事業概要と同じ | － |

| 当初予算書 |
| --- |
| 125P |

| 事業名 | 【継続】<br>臨時福祉給付金給付費 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 (単位：千円) | | | | |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 5,230万3 | 5,230万3 | | | | |
| 事業期間 | 平成２６年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】
消費税率８％への引き上げによる低所得者に与える負担の影響を考慮し、適切な配慮を行うための暫定的・臨時的な給付措置で、当初は平成２６年度限りの予定でしたが、平成２７年１０月に予定されていた消費税率１０％への引き上げが延長されたことに対応した措置です。

【事業概要】
＜事業主体＞島原市
＜負担割合＞給付金事業に要する経費は国が補助金を交付（補助率10/10）




| 基準日 | 平成28年1月1日 |
| --- | --- |
| 支給対象者 | 平成28年度分市民税非課税者<br>（市民税課税者の扶養親族及び生活保護受給者等を除く） |
| 支給額 | 支給対象者1人につき3千円 |
| 支給対象見込者数 | 13,237人 |

| 科目 | 3款 | 1項 | 9目 | 目名称 | 臨時福祉給付金給付費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | ・平成26年度　支給対象者１人につき１万円を支給（老齢基礎年金、児童扶養手当等受給者は５千円を加算）<br>・平成27年度　支給対象者１人につき６千円を支給（加算措置なし） | 上記事業概要と同じ | ― |

| 当初予算書 |
| --- |
| 125P |

| 事業名 | 【新規】<br>年金生活者等支援臨時福祉給付金給付費 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 (単位：千円) | | | | |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2億4,272万2 | 2億4,272万2 | | | | |
| 事業期間 | 平成２８年度 | | | 総事業費 | |

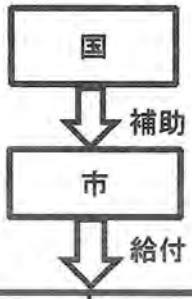
【事業目的】

「一億総活躍社会」の実現に向け、①賃金引き上げの恩恵が及びにくい低年金受給者への支援によるアベノミクスの成果の均てん、②高齢者世帯の年金も含めた所得全体の底上げを図る、③社会保障・税一体改革の一環として平成２９年度から実施される年金生活者支援給付金の前倒し的な位置づけと、平成２８年度前半の個人消費の下支えにも資する観点から、低所得の高齢者等を対象に給付金を支給します。

【事業概要】

＜事業主体＞島原市

＜負担割合＞給付金事業に要する経費は国が補助金を交付（補助率10/10）




| | ①低所得の高齢者 | ②低所得の障害・遺族基礎年金受給者 |
| --- | --- | --- |
| 支給対象者 | 平成27年度簡素な給付措置の対象者（平成27年度分市民税非課税者で、課税者の扶養親族及び生活保護受給者等を除く）のうち、平成28年度中に65歳以上となる者 | 平成28年度簡素な給付措置の対象者（平成28年度分市民税非課税者で、課税者の扶養親族及び生活保護受給者等を除く）のうち、障害基礎年金及び遺族基礎年金を受給している者<br>※左記①低所得の高齢者給付金対象者を除く |
| 支給額 | 支給対象者１人につき3万円 | |
| 支給対象見込者数 | 6，772人 | 858人 |
| 支給方法 | 基準日（平成27年1月1日）に臨時福祉給付金対象で、平成28年度中に65歳以上の者に申請により支給（平成28年度4月～7月の予定） | 平成28年度臨時福祉給付金と併せて、税確定後に申請により支給（10月以降） |

| 科目 | 3款 | 1項 | 9目 | 目名称 | 臨時福祉給付金給付費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | － | 上記事業概要と同じ | － |

| 当初予算書 |
| --- |
| 129P |

| 事業名 | 【継続】<br>乳幼児等福祉医療費 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | (単位：千円) |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 9,927万8 | | 4,120万7 | 1,650万0 | | 4,157万1 |
| 事業期間 | | | | 総事業費 | |

【事業目的】

乳幼児、小・中学生、ひとり親家庭等の子育て家庭における経済的負担の軽減を目的に、医療費の一部を助成し、福祉の増進を図ることで、安心して子育てができる環境づくりを目指すとともに、子どもを産み育てやすい環境を整備することで、人口減少の歯止めを図ります。

【事業概要】

(1)対象者等

| | 区分 | | 要件 | 助成方法 | 所得制限 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ① | 乳幼児 | | 出生から小学校就学前までの者 | 現物給付 | なし |
| ② | 小中学生 | | 小学校就学から中学校卒業までの者 | 償還払い | なし |
| ③ | ひとり親 | 父・母 | 現に20歳未満の子を監護する70歳未満の配偶者のいない者 | 償還払い | あり |
| | | 子 | 18歳未満の者または高等学校在学の20歳未満の者 | 償還払い | あり |
| ④ | 寡婦等 | | 60歳～69歳の独居者（扶養されていない者）　※非課税世帯のみ | 償還払い | あり |

※現物給付　医療機関で受給者証を提示していただくことで、福祉医療費の自己負担額までの支払いで受診できます。市への支給申請は必要ありません。

※償還払い　医療機関の窓口で医療費をいったん支払い、翌月以降、領収書を添付して市へ申請することで、後日、助成額を口座へ振り込みます。

(2)給付内容

| | 区分 | | 内容 |
| --- | --- | --- | --- |
| ① | 乳幼児 | | ・医療機関に支払った額（保険適用分）から、医療機関ごと、1か月ごとに自己負担額（1日800円、月上限1,600円）を控除した額<br>・院外処方の薬代は全額給付（自己負担なし） |
| ② | 小中学生 | | |
| ③ | ひとり親 | 父・母 | |
| | | 子 | |
| ④ | 寡婦等 | | ・医療機関に支払った額（保険適用分）から、1日1,200円を控除した額（入院のみ） |

※負担割合　県１／２　市１／２　（小・中学生分は県費補助なし）

| 科目 | 3款 | 2項 | 1目 | 目名称 | 児童福祉総務費 | こども課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 129P |

| 事業名 | 【継続】<br>産前産後のママサポート事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | (単位：千円) |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 40万0 | | | | 10万0 | 30万0 |
| 事業期間 | 平成２８年度 (単年度事業) | | | 総事業費 | |

【事業目的】

出産前後の育児や家事に係る負担を軽減し、子育て家庭を直接支援するため、出産前２か月の日から子どもが１歳を経過する日までの期間にある妊産婦に対し、育児及び家事等の援助を行う“産前産後ママサポーター”を派遣します。

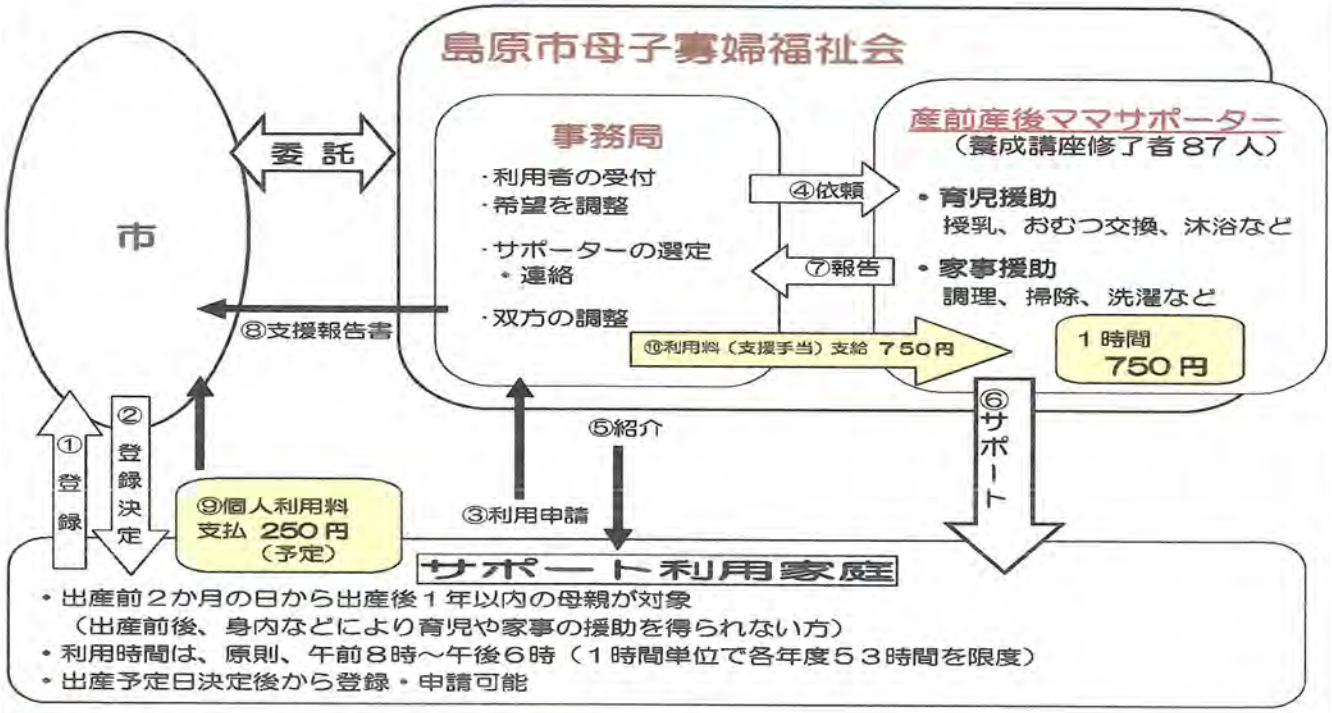
【対象者】

島原市に在住で、出産前後、近くにいる身内などにより育児や家事等の援助を受けられない方

【事業内容】

・利用料の一部を助成　750円/時間　⇒　個人負担額250円/時間

1. 授乳、おむつ交換、沐浴補助、その他家庭内の育児援助
2. 調理、居室掃除、洗濯、その他家庭内の家事援助
3. 育児、家事に関する相談、助言等




| 科目 | 3款 | 2項 | 1目 | 目名称 | 児童福祉総務費 | こども課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 派遣対象期間を、「出産の日から６か月を経過する日まで」で実施 | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ |

| 当初予算書 |
| --- |
| 131P |

| 事業名 | 【継続】<br>子ども・子育て支援事業費補助金 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | (単位：千円) |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1億5,752万3 | 4,697万7 | 4,997万7 | | | 6,056万9 |
| 事業期間 | | | | 総事業費 | |

【事業目的】

子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、「島原市子ども・子育て支援事業計画」に従い、子ども及びその保護者に必要な地域子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に実施します。

（【根拠法令】子ども・子育て支援法第５９条及び第６１条第１項）

【事業及び補助率】

| 事業名 | | 補助率 | | | 補助金交付先 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| | | 国 | 県 | 市 | |
| 1 | 地域子育て支援拠点事業 | 1/3 | 1/3 | 1/3 | ・私立保育所<br>・認定こども園<br><br>※　認定こども園は、新制度施行後から対象（H27～） |
| 2 | 一時預かり事業 | | | | |
| 3 | 延長保育事業 | | | | |
| 4 | 病児保育事業 | | | | |
| 5 | 放課後児童健全育成事業 | | | | |
| 6 | 障害児保育事業 | － | － | 10/10 | |
| 7 | 発達促進保育特別対策事業 | － | － | | |

【事業別内訳】

(単位:千円)

| 事業名 | | | H28当初予算 | | | | H27当初予算 | | | | 増減額 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| | | | 事業費 | 財源内訳 | | | 事業費 | 財源内訳 | | | |
| | | | | 国 | 県 | 市 | | 国 | 県 | 市 | |
| 1 | 地域子育て支援拠点事業 | | 35,783 | 11,927 | 11,927 | 11,929 | 40,564 | 13,521 | 13,521 | 13,522 | △ 4,781 |
| 2 | 一時預かり事業 | | 23,256 | 7,752 | 7,752 | 7,752 | 19,363 | 6,454 | 6,454 | 6,455 | 3,893 |
| | | 保育所 | 16,417 | 7,752 | 7,752 | 7,752 | 19,363 | 6,454 | 6,454 | 6,455 | △ 2,946 |
| | | 認定こども園 | 6,839 | | | | | | | | 6,839 |
| 3 | 延長保育事業 | | 15,756 | 5,251 | 5,251 | 5,254 | 112,913 | 37,637 | 37,637 | 37,639 | △ 97,157 |
| | | 保育所 | 14,521 | 5,251 | 5,251 | 5,254 | 112,913 | 37,637 | 37,637 | 37,639 | △ 98,392 |
| | | 認定こども園 | 1,235 | | | | | | | | 1,235 |
| 4 | 病児保育事業 | | 11,821 | 3,940 | 3,940 | 3,941 | 4,814 | 1,604 | 1,604 | 1,606 | 7,007 |
| 5 | 放課後児童健全育成事業 | | 60,323 | 18,107 | 21,107 | 21,109 | 54,176 | 15,958 | 19,108 | 19,110 | 6,147 |
| 6 | 障害児保育事業 | | 5,292 | － | － | 5,292 | 11,340 | － | － | 11,340 | △ 6,048 |
| 7 | 発達促進保育特別対策事業 | | 5,292 | － | － | 5,292 | 6,426 | － | － | 6,426 | △ 1,134 |
| 合計 | | | 157,523 | 46,977 | 49,977 | 60,569 | 249,596 | 75,174 | 78,324 | 96,098 | △ 92,073 |

| 科目 | 3款 | 2項 | 1目 | 目名称 | 児童福祉総務費 | こども課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 131P |

| 事業名 | 【継続】<br>保育所等整備交付金事業費補助金 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | (単位：千円) |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 7,201万9 | 6,401万7 | | | | 800万2 |
| 事業期間 | (単年度事業) | | | 総事業費 | |

【事業目的】
保育所の増改築等による保育環境整備などの保育所の施設整備に要する費用の一部を補助することにより、子どもたちを安全に安心して育てることができるよう体制整備を行います。

【事業内容】
清華保育園園舎の老朽化により、国の補助事業である「保育所等整備交付金」を財源として、園舎の建て替え工事に要する費用に対し、補助を行います。

【補助基準額】本体工事については定員規模による定額補助、設計料加算あり

【清華保育園の概要】
①現在の定員６０名　⇒新築後の定員７５名の予定（※幼保連携型認定こども園）
②平成27年11月現在の入所児童数　５１名
③現在の施設⇒鉄筋コンクリート造２階建て　昭和47年12月31日建築（42年経過）
延面積：701.83㎡
④工事後の施設⇒鉄骨造２階建て　延面積：1001.50㎡の予定

| | 総事業費(①) | 補助基準額(②) | <歳出> | | | 補助基準額に対する設置者負担(④) | 総事業費に対する設置者負担(①−②+④) |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| | | | 国 | 市 | 計(③) | | |
| | | | 2／3 | 1／12 | | 1／4 | |
| (全体分) | 281,664 | 160,043 | 106,695 | 13,336 | 120,031 | 40,012 | 161,633 |
| 平成27年度(40%) | 112,665 | 64,017 | 42,678 | 5,334 | 48,012 | 16,005 | 64,653 |
| 平成28年度(60%) | 168,999 | 96,026 | 64,017 | 8,002 | 72,019 | 24,007 | 96,980 |

※年次計画（２か年）　⇒平成27年度～平成28年度

| 科目 | 3款 | 2項 | 1目 | 目名称 | 児童福祉総務費 | こども課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | ・安徳保育園園舎増築<br>(26年度からの繰越)<br>・上記事業目的と同じ | 上記事業概要と同じ | |

| 当初予算書 |
| --- |
| 135P |

| 事業名 | 【継続】<br>未熟児養育医療給付事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 251万1 | 106万2 | 53万1 | | 37万5 | 54万3 |
| 事業期間 | 平成２５年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

養育のため入院治療が必要な未熟児に対して、その治療に要する医療費を給付することにより、乳児の健やかな育成を図ります。

【事業概要】

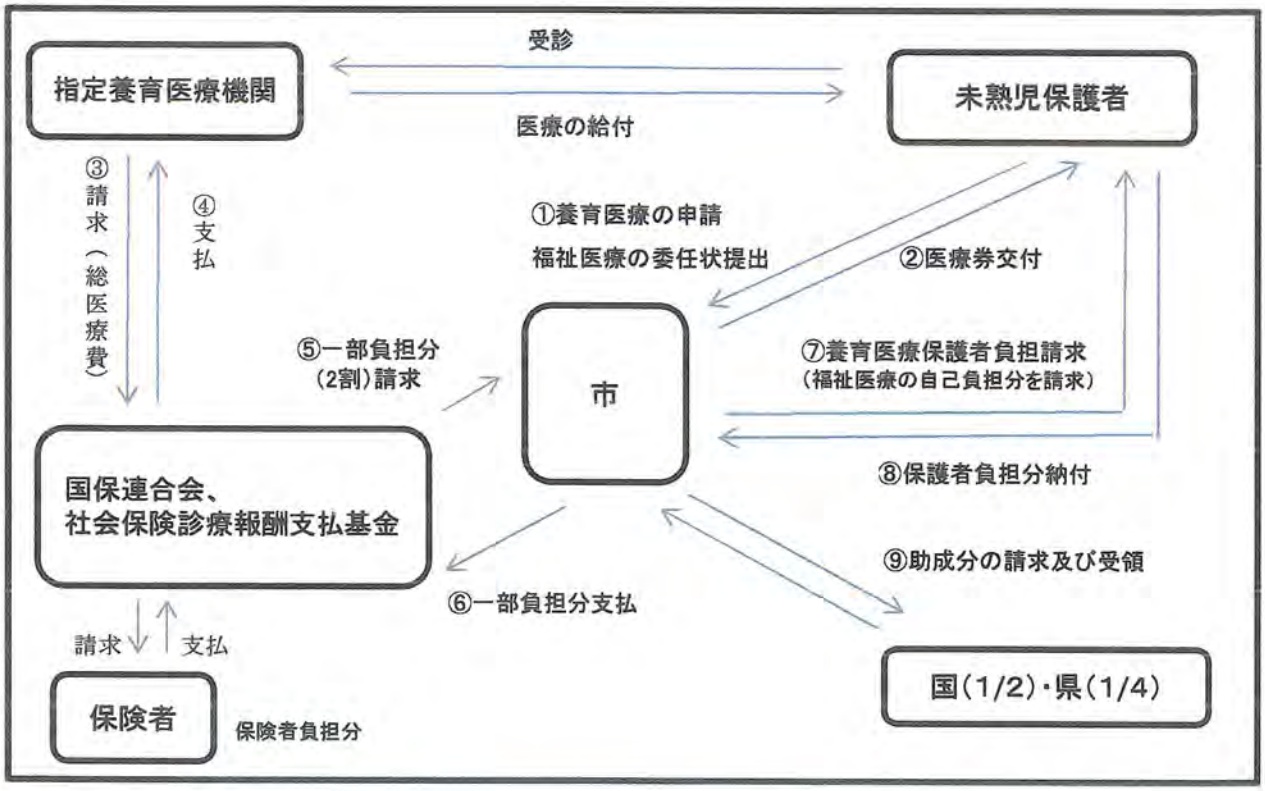
＜対象者＞　医師が入院養育を必要と認めた未熟児

＜給付内容＞　指定養育医療機関で行う未熟児の入院治療費（保険診療の一部負担金）

＜給付方法＞　【現物給付】市が保険診療の一部負担金（2割）を医療機関へ全額支払うもので、保護者は医療機関への医療費の支払いはありません。

＜保護者負担金＞　世帯の課税状況により負担金が決められており市に納入します。

【概要図】




| 科目 | 3款 | 2項 | 1目 | 目名称 | 児童福祉総務費 | こども課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 137P |

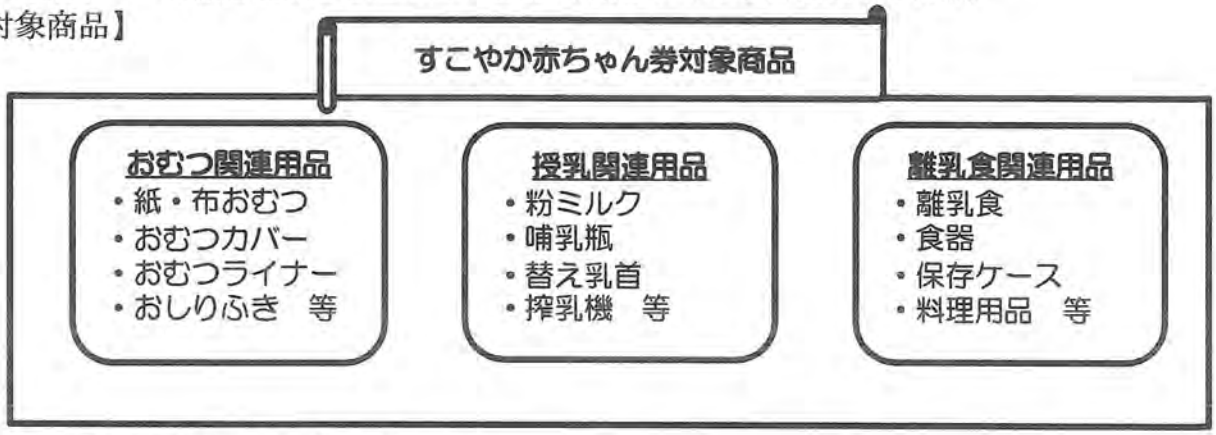
| 事業名 | 【継続】<br>すこやか赤ちゃん支援事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 (単位：千円) | | | | |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,503万5 | | | 1,500万0 | | 3万5 |
| 事業期間 | 平成２５年度～平成　　年度　(単年度事業) | | | 総事業費 | |

【事業目的】　乳幼児を養育している保護者に対し、第２子目からおむつ等の購入費用を助成することで子育て家庭の経済的負担を軽減し、本市で多くの子どもたちを産み育てられる環境の向上を図ります。

【事業内容】　市が指定する販売店で使用できる「すこやか赤ちゃん券」を支給します。

【取扱店】　取扱店登録をした市内の店舗(平成２７年１０月現在１８店舗)

【対象商品】




【対象者】次の条件をいずれも満たす人

①市内に住所を有し、かつ居住している人
②満２歳未満の第２子以降の子どもと同居し、養育している人
（２歳になる誕生月の前月までが対象）
※支給対象児の第２子以降の判定については、満１８歳到達後の最初の３月３１日までの間にある児童の中で、数えるものとします。

【支給額】第２子・・・・・・・月額２，０００円分の購入券
第３子以降・・・・・１人につき月額３，０００円分の購入券
（出生時に０歳分を支給し、満１歳の誕生月に１歳分を支給します。）

| 出生 | | 第１子 | 第２子 | 第３子以降 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 支給額（円） | 月額 | 0 | 2,000 | 3,000 |
| | 年額 | 0 | 24,000 | 36,000 |

| 科目 | 3款 | 2項 | 1目 | 目名称 | 児童福祉総務費 | こども課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業内容と同じ | 上記事業内容と同じ | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 137P |

| 事業名 | 【継続】<br>子どものための教育・保育給付費 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | (単位：千円) |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 21億6,678万5 | 8億6,771万7 | 4億5,026万8 | 1億4,530万0 | 1億6,904万9 | 5億3,445万1 |
| 事業期間 | | | | 総事業費 | |

【事業目的】

平成２７年４月から本格施行した子ども・子育て支援新制度において、従来それぞれに行われていた保育所、幼稚園、認定こども園への財政支援を、「施設型給付」を創設することで、新制度に移行した施設への共通化した財政支援を行います。

【負担割合】

○１号認定（教育）　全国統一費用部分　72.5%　国 1／2、県 1／4、市 1／4
　　地方単独負担部分　27.5%　県 1／2、市 1／2

○２・３号認定（保育）　国 1／2、県 1／4、市 1／4

保育所(私立)

| 施設名 | 給付費 |
| --- | --- |
| 浦田保育園 | 59,856,240 |
| おさなご園 | 97,261,600 |
| こひつじ保育園 | 80,893,240 |
| たけしま保育園 | 121,041,370 |
| みどり保育園 | 112,684,380 |
| わかくさ園保育所 | 109,363,390 |
| 愛児保育園 | 74,181,360 |
| 安徳保育園 | 100,902,600 |
| 桜花保育園 | 64,421,240 |
| 山寺保育園 | 67,896,440 |
| 寺町保育園 | 61,549,570 |
| 春陽保育園 | 136,282,220 |
| 中木場保育園 | 91,957,800 |
| 美祢保育園 | 36,029,110 |
| みやま保育園 | 46,916,360 |
| 向陵保育園 | 98,747,980 |
| 東向保育園 | 75,509,820 |
| 心香保育園 | 109,711,870 |
| 誓願幼児園 | 71,891,460 |
| 恵祥保育園 | 60,637,420 |
| 市外 | 80,785,200 |
| 私立計 | 1,758,520,670 |

認定こども園　(単位：円)

| 施設名 | 認定区分 | 経費総額 a | 保育料（園収入） b | 給付費 a-b | 給付費計（教育+保育） |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ありあけ幼稚園 | 教育 | 22,003,130 | 2,144,400 | 19,858,730 | 58,019,350 |
| | 保育 | 41,922,620 | 3,762,000 | 38,160,620 | |
| 勝光幼稚園 | 教育 | 14,192,870 | 1,596,000 | 12,596,870 | 59,036,030 |
| | 保育 | 48,894,360 | 2,455,200 | 46,439,160 | |
| ひかわ第一幼稚園 | 教育 | 35,584,508 | 10,563,600 | 25,020,908 | 92,376,828 |
| | 保育 | 75,651,520 | 8,295,600 | 67,355,920 | |
| 清華こども園 | 教育 | 0 | 0 | 0 | 64,556,560 |
| | 保育 | 70,670,560 | 6,114,000 | 64,556,560 | |
| 島原幼稚園 | 教育 | 37,098,080 | 6,319,200 | 30,778,880 | 108,025,940 |
| | 保育 | 89,957,460 | 12,710,400 | 77,247,060 | |
| 市外 | 教育 | 9,578,160 | 1,563,600 | 8,014,560 | 26,248,920 |
| | 保育 | 20,070,360 | 1,836,000 | 18,234,360 | |
| 計 | 教育 | 118,456,748 | 22,186,800 | 96,269,948 | 408,263,628 |
| | 保育 | 347,166,880 | 35,173,200 | 311,993,680 | |

合計

| | 認定区分 | 入所児童数（市民） | 給付費 |
| --- | --- | --- | --- |
| 認定こども園 | 教育 | 175 | 96,269,948 |
| | 保育 | 268 | 311,993,680 |
| 保育所（私立） | 保育 | 1,545 | 1,758,520,670 |
| 計 | | 1,988 | 2,166,784,298 |

| 科目 | 3款 | 2項 | 2目 | 目名称 | 児童措置費 | こども課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 137P |

| 事業名 | 【継続】<br>児童手当給付費 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | (単位：千円) |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 7億4,946万0 | 5億1,896万0 | 1億1,525万0 | | | 1億1,525万0 |
| 事業期間 | | | | 総事業費 | |

【事業目的】
児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童のすこやかな育ちに寄与することを目的としています。

【事業内容】
中学校修了までの児童を監護し、かつ、一定の生計関係を有する場合、その父母又は養育者に児童手当を支給します。（月額は以下のとおり）

| 児童一人あたりの支給月額 | 対象児童 | 所得制限 | |
| --- | --- | --- | --- |
| | | 限度額未満の世帯 | 限度額以上の世帯 |
| | 3歳未満（一律） | １５，０００円 | 【特例給付】<br>一律５，０００円 |
| | 3歳以上小学校修了まで（第１子・第２子） | １０，０００円 | |
| | 3歳以上小学校修了まで（第３子以降） | １５，０００円 | |
| | 中学生（一律） | １０，０００円 | |

※　支給月は、６月・１０月・２月の年３回支給

【負担割合】

| 支給対象児童 | | 国 | 県 | 市 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ０歳～３歳未満 | 被用者 | ３７／４５ | ４／４５ | ４／４５ |
| | 非被用者 | ４／６ | １／６ | １／６ |
| ３歳以上～小学校修了前 | 第1子・第2子 | ４／６ | １／６ | １／６ |
| | 第3子以降 | ４／６ | １／６ | １／６ |
| 中学生 | | ４／６ | １／６ | １／６ |
| 所得制限以上世帯 | | ４／６ | １／６ | １／６ |

| 科目 | 3款 | 2項 | 2目 | 目名称 | 児童措置費 | こども課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 137P |

| 事業名 | 【継続】<br>児童扶養手当給付費 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 (単位：千円) | | | | |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2億8,105万0 | 9,368万3 | | | | 1億8,736万7 |
| 事業期間 | | | | 総事業費 | |

【事業目的】
父母の離婚などにより、父または母と生計を同じくしていない児童が育成されるひとり親家庭の生活の安定と自立を支援するため、児童扶養手当を支給し、児童が心身ともに健やかに成長できるよう、児童の福祉の増進を図ります。

【事業概要】
（1）支給対象者
次の条件にあてはまる１８歳到達後最初の３月３１日までにある者（一定の障害を有する場合は２０歳未満）を監護している父、母または養育者に支給します。

①父母が離婚した子
②父または母が死亡した子
③父または母が重度の障害にある子
④父または母の生死が明らかでない
⑤父または母から１年以上遺棄されている子
⑥父または母が裁判所からのＤＶ保護命令を受けている子
⑦父または母が１年以上拘禁されている子
⑧母が婚姻しないで生まれた子

（2）支給額
受給資格者等の所得に応じて、手当の一部又は全部の支給が制限されます。

| 区分 | 全部支給の場合 | 一部支給の場合 |
| --- | --- | --- |
| 児童１人のとき | 月額　42,000円 | 月額　41,990円～9,910円<br>※所得に応じて10円刻みの額 |
| 児童２人のとき | 上記に5,000円加算 | |
| 児童３人以上のとき | 上記に１人あたり3,000円加算 | |

（3）支給月
４月・８月・１２月の年３回支給

※負担割合　　国１／３　　市２／３

| 科目 | 3款 | 2項 | 2目 | 目名称 | 児童措置費 | こども課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ | 上記事業概要と同じ | 引続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 149P |

| 事業名 | 【継続】<br>生活保護事業（扶助費） | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 9億9,054万0 | 7億4,290万2 | 2,416万5 | | | 2億2,347万3 |
| 事業期間 | | | | 総事業費 | |

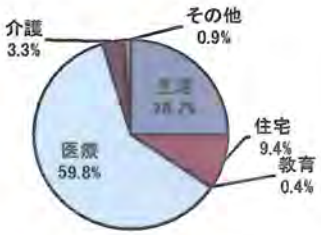
【事業目的】

・生活保護法に基づき、生活に困窮するすべての市民に対し、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長します。

【事業概要】

（単位：千円）

| 扶助等の種類 | 内容 | 予算額 |
| --- | --- | --- |
| 生活扶助 | 生活に必要な食費や光熱水費などの費用 | 2億5,300万0 |
| 住宅扶助 | 家賃、地代や住宅の補修などの費用 | 9,681万3 |
| 教育扶助 | 学用品、学級費、教材費、給食費など義務教育にかかる費用 | 357万1 |
| 医療扶助 | 病気やけがの治療のため、医者にかかる費用 | 5億9,217万0 |
| 出産扶助 | 出産のための費用 | 42万0 |
| 生業扶助 | 仕事に就くための費用、高校に就学するための費用 | 362万7 |
| 葬祭扶助 | 葬祭の費用 | 203万0 |
| 介護扶助 | 介護サービスを受けるための費用 | 3,620万0 |
| 施設事務費 | 救護施設事務費 | 222万9 |
| 就労自立給付金 | 安定した職業につき保護を要しなくなった世帯に対する給付金 | 48万0 |
| 合計 | | 9億9,054万0 |




※その他：出産扶助、生業扶助、葬祭扶助、施設事務費、就労自立給付金の合計

※ 救護施設とは、身体や精神に障害があり、経済的な問題を含めて日常生活を営むことが困難な人が、健康で安心して生活するための施設

| 科目 | 3款 | 3項 | 2目 | 目名称 | 扶助費 | 福祉課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 保護世帯の最低限度の生活の保障と自立を助長するため適正に各種保護を行う | 左記の事業計画と同じ | 左記の事業計画と同じ |